

医学系研究科（博士課程）

教育課程の編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

福井大学大学院医学系研究科博士課程では、学位授与の方針で示す能力を確実に修得させるため、以下の方針に基づいて教育課程を編成・実施します。

1. 体系的な教育課程（教育課程の編成の方針）

医科学および生命科学分野において、高度な知識および科学的・論理的思考に基づき、独創性・創造性に優れた研究を遂行し、国際的にも活躍できる自立した研究者、各診療分野で優れた臨床研究能力と先端的で高度な医療技能を備え、高い倫理観と研究マインドを持った臨床医・高度専門医療人および地域に貢献できる臨床研究能力や教育的指導力を備えた質の高い総合診療医・ER救急医・家庭医を養成するため「統合先進医学専攻」に必修科目・選択必修科目・選択科目を体系的に配置します。

基礎医学領域を中心とする「医科学コース」、臨床医学領域を中心とする3部門（腫瘍医学、器官再生医学、病態情報解析医学）からなる「先端応用医学コース」、および地域医療に関連した臨床領域を中心とする「地域総合医療学コース」を設けます。各コースでは、各専門領域における、先端研究・学際研究の成果や展望に関する知見、地域から世界にわたる様々な社会的課題に触れる機会、研究成果を発信する場を多様に提供します。

2. 効果的な教育方法（教育課程における教育・学習方法に関する方針）

- (1) 社会人大学院生に対して教育方法の特例を適用した柔軟な授業形態を採用し、履修指導を行います。また、学外非常勤講師による講義や大学院セミナー等を活用することで、多彩な教育を行います。
- (2) 3年次頃に行う大学院生研究発表会（研究経過報告・検討会）では、指導教員以外や学生から研究内容の検討や助言を得る機会を設けます。
- (3) 大学院生ごとに指導教員と副指導教員を配置します。
- (4) 共通および専門の各授業科目に教科主任となるコーディネーターを置き、授業内容に応じて複数の担当教員により実施される授業の一貫性を担保します。
- (5) 本院の初期臨床研修医（医学部医学科卒業予定者を含む。）を対象とした「初期研修同時履修制度」により、初期臨床研修と大学院在学を両立し、博士号の早期取得を可能とします。
- (6) 本学の医学部医学科生を対象とした、「博士課程授業科目早期履修制度」によりいち早く博士課程授業科目を受講することを可能とします。

3. 厳格な学修評価（学習成果の評価の方針）

- (1) 科目の成績評価は、「福井大学における多面的かつ厳格な成績評価のガイドライン」に沿って行います。
- (2) 研究成果や研究遂行に求められる能力については、博士論文審査実施要項に定められた論文内容の独創性、先進性及び信頼性等の観点から評価します。

4. 改善のための教育評価

博士課程で実施する教育をより良いものとしていくため、教育の内容・方法・成果について、研究業績やアンケート等に基づき、随時、評価と検証を行い、継続的な改善に努めます。